

認知症支援は

介護保険に困った…過半数 荒川区でも実態調査と支援強化を

認知症の人と家族の会「アンケート」

表 4-3 介護保険サービスで困っていること、不満に思うこと(介護中家族) (n=180)

	未申請	要支援			要介護					無回答・その他	計
		1	2	3	1	2	3	4	5		
ある	2	0	3	15	17	22	13	26	2	100	
ない	0	2	1	15	12	13	9	14	2	68	
わからない	1	0	0	2	0	4	2	3	0	12	
計	3	2	4	32	29	39	24	43	4	180	

表 4-5 介護保険サービスの負担・給付見直し等による経済的影響(介護中家族) (n=166)

	未申請	要支援		要介護					無回答・その他	計
		1	2	1	2	3	4	5		
ある	0	0	1	6	17	9	7	20	2	62
ない	0	2	2	17	8	16	9	13	2	69
わからない	3	0	1	6	5	8	5	7	0	35
総計	3	2	4	29	30	33	21	40	4	166

公益財団法人「認知症のひとと家族の会」は昨年「介護保険の困りごとアンケート」を認知症本人や介護中家族、介護経験者など対象に郵送で実施しました。そこでは回答者の過半数から「介護保険に困っていることがある」と回答。また利用料の負担が重くなるなど経済的影響

があるとの回答も4割に及んでいました。また、認知症の人のくらしは医療介護だけ解決できない課題も多く自由な声が多く寄せられています(下囲み)。認知症は、決して他人事ではありません。荒川区の場合、要支援、要介護認定者の約8割が軽度も含め認知症を有しています。このアンケート結果からも

区として、認知症介護の実態を踏まえた要介護認定基準や判定早期診断・早期支援の体制強化、経済的支援などが必要だと感じます。そのため区の実態調査と支援策の見直しが必要です。

町屋駅周辺の不快な「音」はビル空調の不具合 区環境課に知らせ応急対応でとりあえず解決

毎週金曜日の早朝は、週刊の横山区政報告ニュースを町屋駅で配布する日です。ある朝、通勤客の方から「最近、町屋駅周辺に嫌な音が広範囲に聞こえている。何とかならないか」というお声をいただきました。そういえば、金属をひねったような、軋むような、低周波のような音がほぼ切れ目なく聞こえてきます。しばらく聞いていると不快感が極度に高まる音です。その後、町屋駅近くにお住いの方から、詳細に状況を聞くことができました。原因は、「どうも隣のビルの空調では」との話でした。さっそく区環境課に情報提供したところ、即日状況調査や聞き取りを行い、当該ビルの空調を確認。やはり老朽化した設備の軋む音で、油をさすと音がなくなったようです。今後設備の更新を行うとのことでした。



《サービス負担増・給付見直しの影響...一部抜粋》

2割負担になると半分のサービスは利用できなくなる介護保険の枠外の支払いが大きく、ショートステイが特に高いのもう使っていない...などなど

《日ごろの思いなど...一部抜粋》

介護家族は24時間必死なのに...介護保険制度は家族などだれか専従で介護する人がいるという前提でつくられています。家族が手をかけなくても介護できる仕組みをぜひ『在宅認定者の全国実態調査』を実施してシングル介護の自分の老後も不安...などなど

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

735

2019年6月16日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。



先日、荒川総合スポーツセンターの前を通りかかりました。建物全体に足場が組まれ、よく見るとプール以外の窓枠は全て打ち抜かれていました。来年3月には、新しく生まれ変わったスポーツセンターが顔をみせることでしょう。来年はオリンピックパラリンピックの年ですが、パラリンピック競技大会シッティングバレーボールの公式練習会場として使われることが決まっています。そんなことも



大規模改修に入り足場が組まれたスポーツセンター

あつて7月5日、6日の「あらかわ伝統技術展」は、日暮里サニーホールで開かれます。会場の規模が違つのでどんな感じになるかわかりませんが、ぜひお立ち寄りください。(横山幸次)

荒川総合スポーツセンターは、大規模改修中です...
そのため今年の伝統技術展は日暮里サニーホールで開催

裏面 学童クラブの現状、保育の課題...など

お気軽にご相談ください
定例法律相談会

7月1日(月)
横山事務所18時~20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

学童クラブ

学童クラブ利用児童は引き続き増加傾向 定員オーバー解消や専用室拡大など課題



上は、尾久小学学童クラブ予定地、商店街と尾久小に隣接。
右は、南千住6丁目学童クラブ予定の都有地。



南千住6、尾久小に学童クラブ新設…
放課後学童支援員の十分な配置が必要
児童数は減少してはいますが、尾久小学学童クラブ新設、再来共働き世帯の増加などで学童クラブを利用する児童は増加傾向にあります。

	児童数	定員
四峡小	54	60
五峡小	68	60
七峡小	49	60
大門小	55	60

	児童数	定員
南千住第1、2	115	100
二瑞小	72	60
汐入小	122	120
汐入東	78	70
熊野前	80	50
西尾久	78	60
尾久西	61	60
三日小	78	70

	児童数	定員
26学童	1,497	1,585

荒川区は、学童クラブ（主に共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供）の利用対象者の申請には全員を受け入れてきました。そのため定員を超えたすし詰め状態も出てきました。また区の条例でも専用室は、1人1・65㎡ですが達成できていません。来年4月に

再録：区内保育の状況

区は、待機児童45人（1歳児のみ）と報告。しかし本来認可保育園を希望して入れなかった不承諾は260人でほぼ例年並みでした。認証保育所や保育ママなどで対応できるを得なかった場合も認可認可保育園の待機児童のほうです。

	2018年度	2019年度	昨年度
認可保育園申込者数	1525	1466	59
入園承諾者数	1248	1206	42
認可保育園入園不承諾者数	277	260	17

待機児にカウントしない	2018年度	2019年度	昨年度
認証保育所	35	29	6
保育ママ	39	23	16
定期利用	11	10	1
小計	85	62	23
その他			
単独園希望	25	20	5
隣接園入園せず	31	35	4
内定取り消し	0	0	0
書類不備	5	3	2
育休延長	42	81	39
求職活動休止	9	14	5
小計	112	153	41
待機児	80	45	35

5月連休の休日保育…23区で比べると

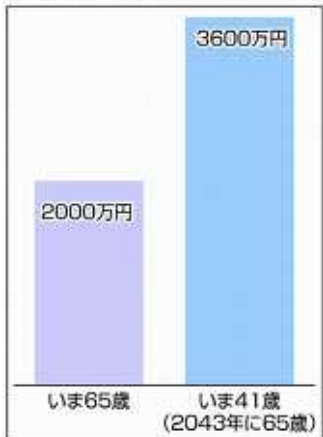
5月の10連休・休日保育の23区実施状況を調べると、保育料では千代田区0〜2才クラス1日5000円以外は安く、無料の区が6区、一部無料が6区ありました。荒川区は4月30日と5月2日の2日間、ひぐらし保育園で受入、利用者は30日が9人・2日は8人、保育料が5000円と一番高く、勤務証明や昼食おやつ水筒持参などでハードルが高かったようです。年間通して休日保育実施は16区、利用日が4月28日から5月6日と連休全てが対象になっている区は、5月の今回の連休だけでなく年間通して休日保育を区として実施しています。全体では16区が行っていました。荒川区として見検討が必要ではないでしょうか。

	実施場所	定員	利用日	利用時間	保育料
荒川	区立1	特に設けていない	4/30、5/2	7時15分～18時15分の間で、勤務証明書に記載された勤務時間に通勤時間を加えた時間(1歳児未満の保育時間は、8時30分～17時)	5000円/日(昼食水筒おやつ持参)
文京	区立1 私立5	区立:各名30名 私立:希望に応じて	4/30、5/1、5/2	区立:8時30分～17時15分の間で、勤務証明書に記載された勤務時間に通勤時間を加えた時間 私立:7時15分～18時15分の間で、必要に応じて	無料
台東	区立1	50名	4/28～5/6	7時15分～18時15分	2000円(全日) 1000円(半日)
墨田	公設民営2	34 12	4/28～5/6	7時15分～18時15分	2500円/日 減免あり
北	公設民営4 私立3	公設民営:各園30名 私立:各園10名	4/28～5/6	7時15分～18時15分の間で、勤務証明書に記載された勤務時間に通勤時間を加えた時間	無料(保育園通園児以外は1日2000円昼食・おやつ500円)
足立	私立5	設けていない	4/28～5/6	8時～17時	1日2500円 延長料金、給食費、間食費は別

「年金100年安心」は嘘だった 老後2000万円不足・話題沸騰

実収入	月 209,198円
実支出	月 263,718円
赤字額	月? 54,520円

マクロ経済スライドによる年金の削減を続けた場合の生活費の不足額(政府の資料等に基づいて計算)



金融庁は、高齢夫婦の平均収入と支出の差は毎月約5万5000円で、公的年金だけでは30年間で2000万円不足すると試算しました。まず2000万円の根拠について、金融庁の報告書によると、高齢の無職夫婦世帯(夫65歳以上、妻60歳以上)の1カ月の平均的な収支は、左上の囲みのようになっています。さらに現在41歳の方の場合、3600万円が不足額になる計算です。この客観的な数字の都合が悪くなったのか「なかったことにしよう」と躍起な安倍政権。しかし事実は消せません。